



第80回

私のスケッチブック

## 「世界遺産・鐘楼の街」

ティーネン（ベルギー）



ティーネンの話は画集「私のスケッチブック」にも掲載されています。ドイツのデュッセルドルフで仕事を済ませて、車で2時間ほど高速道路を走って夕刻に立ち寄ります。

ブリュッセルから45kmほど離れたベルギーの中心部に位置し、観光ガイドブックにも掲載されないような田舎町。町の歴史は古く、ケルンからカッセル街道の交通の要地として繁栄し、13世紀にはブラバント公の統治によって毛織物の町としても栄えます。フランネルとかツイードなどと呼ばれる高級織物の町だったのでしょ。

世界遺産に登録されている鐘楼はベルギーのフランドルとワロン地方で32、後にフランスの追加登録で56が登録されています。丘の上で見張り台の役割を果たす目的で建てられた聖ゲルマヌス教会は、ロマネスク様式のバシリカ聖堂で4つの塔で形成され、カリヨンの鐘は54個だそうです。

トイレ休憩と一服。Caféを目指して、広場の駐車場に車を止めてプラブラと街歩き。鐘楼を目指して歩くのですが、良く似たブル聖母教会と間違いそうになります。「オ～ィ、そこのアジアン！よそ見しないで上を観なヨ。これが鐘楼だよ…間もなく5時の鐘が鳴るぞ!!」美しい音色に酔いしれながら異国情緒を満喫。

この町には、ベルギーで最大の砂糖工場があります。原料は「てん菜」だそうです。日本の砂糖は、沖縄を中心とした「さとうきび」と北海道を中心とした「ビート（さとう大根）」で作られます。てん菜は、ビート（さとう大根）の別名。寒さに強く寒冷地作物ですので、欧州の北部でも栽培されています。搾りカスは飼料として利用されますから一挙両得。

ベルギーとオランダの国境近くのゲンクは、昔多くの炭鉱で賑わいました。現在は物流業者が跡地を利用して倉庫群を展開。災害の少ない地域ですから、巨大な倉庫が軒を連ねています。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。  
2017年開催「第68回 全国カレンダー展」に9度目の入選を果たし、その実力を発揮する。  
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索